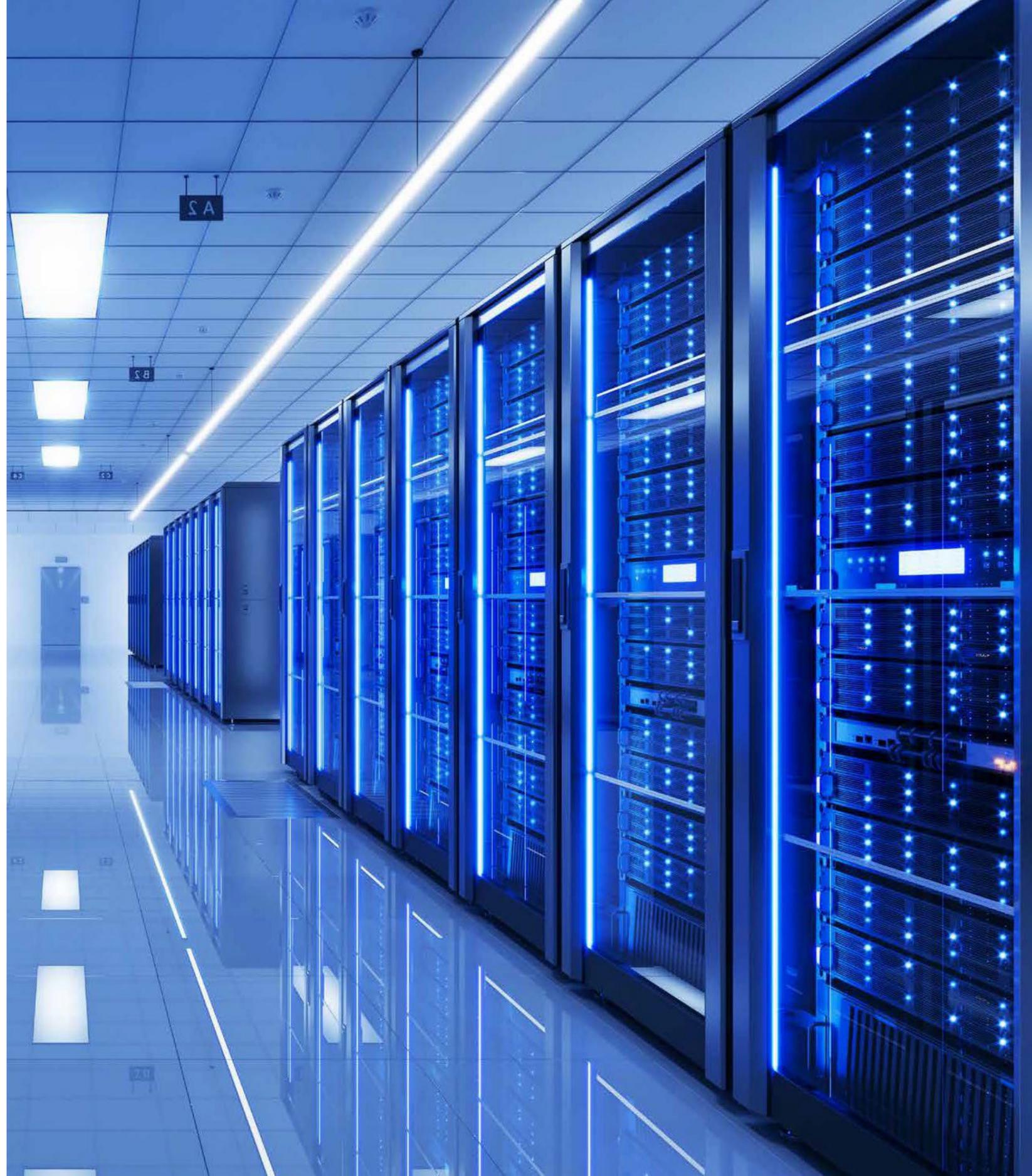


# ハイテクサプライチェーン を再定義する

より速く革新し、よりスマートに計画し、  
確信をもって実行する

—すべてをつなぐサプライチェーン  
プラットフォームで実現



01	ハイテク企業のリーダーが無視できない4つの課題	3
02	課題1：断片化したサプライチェーンでの可視性の制限	4
03	課題2：変動の大きな世界での計画の硬直化と分断	5
04	課題3：グローバルネットワークでの連携の断片化	6
05	課題4：コストの上昇と非効率な実行	7
06	摩擦なくスムーズに：インテリジェントな、接続されたサプライチェーンの構築	8

# ハイテク企業のリーダーが無視できない4つの課題

今日のハイテクサプライチェーンは常にプレッシャーにさらされています。混乱はもはや例外ではなく、新たな日常となっています。需要の変動、コストの上昇、不安定な世界情勢、絶え間ない新製品の投入によって、従来型のサプライチェーンはもはや通用しなくなっています。

時代に取り遅れないために、企業にはよりスマートでより密接につながったアプローチが必要です。そのために必要なのは、リアルタイムの可視性、インテリジェントな計画、サプライチェーン全体でのシームレスな実行です。

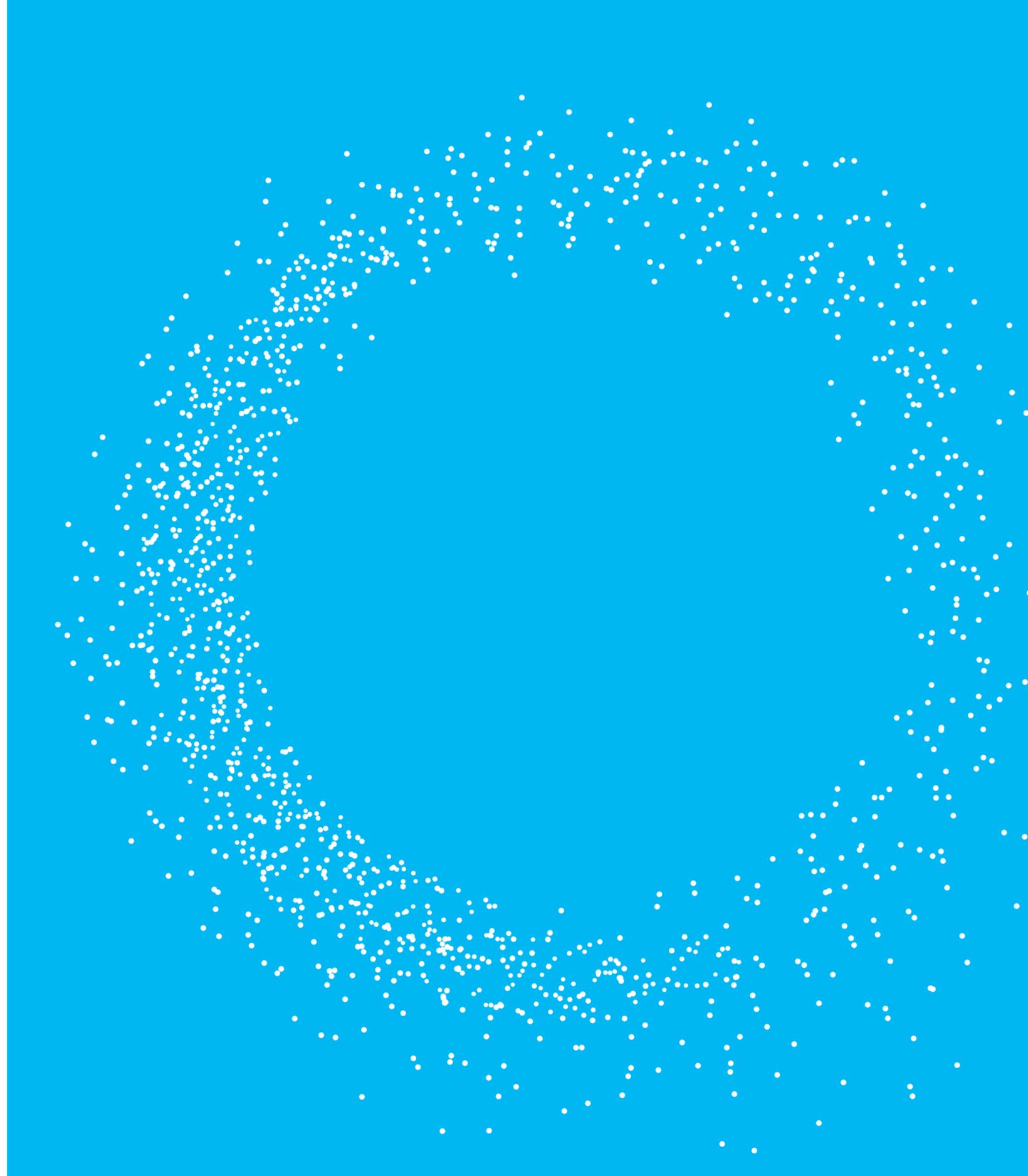
## 大きすぎて無視できないリスク

1つの小さな失敗がビジネス全体を揺るがす可能性があります。新製品投入の遅れ。収益損失。顧客の信頼の損失。この業界では、スピードと精密さは十分条件ではなく必要条件です。

**この eブックでは、今日のハイテクサプライチェーンが直面する以下の4つの主要な課題を取り上げます。**

- 意思決定を遅らせる可視性のギャップ
- 硬直化し、分断された計画プロセス
- グローバルネットワークでの連携の断片化
- 実行コストの上昇と非効率性

ここでは、個々の課題への対処方法を説明し、トップクラスのハイテク企業がスマートで回復力の高いサプライチェーンをいかにして迅速に構築しているかを説明します。



# 課題1： 断片化したサプライチェーンでの 可視性の制限



多くのハイテク企業は目に見えない問題と闘っています。グローバルな生産拠点、多層的なサプライヤーネットワーク、製造の外注化といった要因が、今起こっていることを明確かつリアルタイムに把握するのが難しくしています。データはサイロ化されています。兆候は遅れて現れます。迅速な意思決定は困難です。

リーダーはサプライチェーン全体を見渡せなければ、迅速な対応ができません。自信をもって行動するのは絶対に無理です。

## なぜ重要なのか

何が起きているのかわからなければ、遅れに対応できません。見えない制約を考慮した計画も立てられません。可視性のギャップは収益の損失を生み、製品ローンチを遅らせ、顧客のフラストレーションを高めます。

## 解決策：リアルタイムの可視化とサプライチェーンの同期

先進的なハイテク企業は、接続された統合型のプラットフォームに移行しています。需要の兆候、在庫レベル、サプライヤーの状況、物流状況のすべてを1か所に集めたものです。Blue Yonder のソリューションは統合データクラウド上に構築され、優れた意思決定を迅速に行うための管理性とスピードをもたらします。

プランナーからサプライヤーや物流パートナーまで、誰もが同じリアルタイムの情報を元に連携していれば、エコシステム全体がより俊敏でインテリジェントなものになります。

● 自社のサプライチェーンを完全に可視化できていると答えた企業はわずか6%、自社のリスクを十分に把握できていると答えたのはわずか17%。(出典：IEEE PRESENTATION)

## 課題2： 変動の大きな世界での 計画の硬直化と分断

ハイテクの世界では、すべてが急速に、そして頻繁に変化します。それにもかかわらず、多くの企業はいまだに時代遅れの計画プロセスを使用し、需要の変動、供給ショック、新製品の導入などに適応できていません。これらの計画は孤立した状態で構築され、更新も非常に遅く、実行につながっていません。

その結果、計画が動的な世界に対応できない静的なものとなってしまいます。

### 計画は数字のゲームではない

計画とは、調達、製造、流通にわたる意思決定を連携させることであり、変更が発生したときにも迅速に調整できるようにすることです。そうしないと、企業では過度な修正が必要となります。適切な在庫への資産投資が不可能になります。ローンチの時期も遅れます。顧客を失望させることになります。

### 解決策：シナリオ計画と AI 主導の適応力

最新の計画は動的かつデータ主導である必要があります。つまり、What-if シナリオをモデリングし、柔軟な計画を構築して、サプライチェーン全体で実際に起こっていることに基づいてリアルタイムに調整します。

Blue Yonder はハイテク企業がそれを完全に実現できるよう支援します。機械学習を利用した予測、調整を提案する AI エージェント、部門をまたぐ統合計画によって、企業はより迅速に対応し、在庫を最適化して、よりスマートな供給戦略を立てることができます。





## 課題4： コストの上昇と 非効率な実行

ハイテクサプライチェーン全体がプレッシャーにさらされています。製造コストは上昇し続けています。労働力の確保は難しくなっています。物流の制約も厳しくなっています。利益率は低下しても期待は高まっている状況では、より迅速な実行と無駄の削減、そしてよりインテリジェントな対応が必要です。

ですが、多くのハイテク企業は、輸配送、倉庫、オーダー fulfillmentなどの業務にその場しのぎの断片化されたシステムを使用しており、リアルタイムでの最適化はほぼ不可能になっています。

### 散見される実行のギャップ

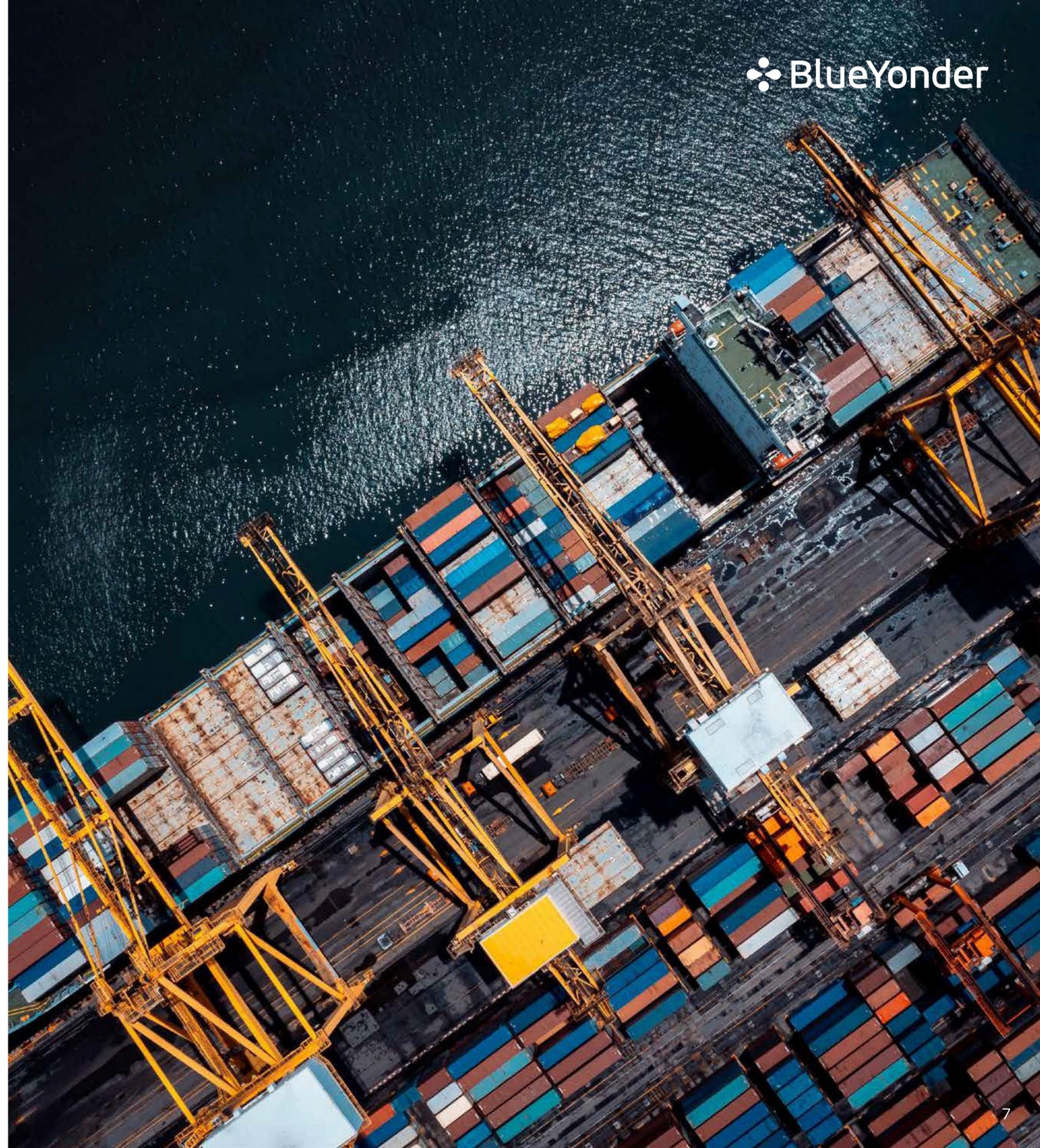
出荷の遅れ。ドック予約の手違い。在庫が不足している地域と過剰な地域。これらは個別の問題ではありません。十分に迅速な対応ができないか、部門間の調整がしかりできていないサプライチェーンにみられる現象です。

### 解決策：実行の同期とインテリジェントな自動化

Blue Yonder の統合型の実行ソリューションにより、ハイテク企業は輸配送や倉庫管理から注文の統合管理までの広範囲にわたって意思決定を自動化し、無駄をなくして、顧客サービスを向上させることができます。

重要なのは実行を計画に直接結び付けることです。在庫レベル、物流のキャパシティ、需要予測が1つのシステムで接続されれば、企業はよりスマートにルートを設定し、より迅速に商品を充足し、オペレーションの柔軟性を高めて、ニーズの変動に対処することができます。

▶ 計画と実行を同期化したハイテク企業はサービスレベルが2~5%向上し、物流コストが10~15%削減されたと答えています。  
(出典：BLUE YONDER DATA)



## 摩擦なくスムーズに： インテリジェントな、接続された サプライチェーンの構築

ばらばらのサプライチェーンを継ぎ合わせる必要はありません。未来のハイテク産業に向けて、サプライチェーンを再設計する必要があるのです。

ハイテクサプライチェーンはますます複雑化しています。市場の変動、利益率の圧迫、イノベーションの加速は避けられない状況にあります。しかし、状況を適切に把握し、インテリジェントに計画を立て、リアルタイムに連携して、迅速に実行することのできる企業は勝ち抜いています。

最新のサプライチェーンは即応性があるだけでなく、事前対応型のアプローチをとっています。リアルタイムのデータ、AI を利用した知見、グローバルパートナー間のシームレスな連携によってサプライチェーンは強化されています。Blue Yonder はそうしたサプライチェーンの構築をお手伝いします。

現在のシステムにとらわれず、今できることを考えましょう。

### 次に来るのは何か？

この e ブックでは、ハイテクサプライチェーンが直面する課題と、それらを克服するために必要な変革の全体像を示しました。

現在トップ企業がこうした問題をどのようにして解決しているかを詳しくお知りになりたい場合は、ホワイトペーパーをお読みください。



▶ [ja.blueyonder.com](https://ja.blueyonder.com)

.....  
©2025 Blue Yonder Group, Inc. All rights reserved. Blue Yonder は Blue Yonder Group, Inc. の登録商標です。他のすべての企業名と製品名は、関連する企業の商標、登録商標、またはサービスマークである場合があります。Blue Yonderは、本書に記載されているこれらの情報またはあらゆるソフトウェアの機能、特性、もしくは仕様を予告なく変更する権利を留保します。